

掛川市「考古の日」記念

出土文化財展

と き：平成4年5月28日(木)～31日(日)

と ころ：掛川市生涯学習センターギャラリー1階

1992

掛川市教育委員会

ほりのうちこふんぐん 堀ノ内古墳群（新市庁舎建設内遺跡）

1. 調査地 長谷 928他
2. 調査の原因 新市庁舎建設
3. 調査の面積 4,600㎡
4. 調査の期間 平成3年11月～平成4年3月
5. 調査の内容 発見された遺構は、古墳時代と考えられる方形周溝墓1基、古墳時代後期（1,400年前）の古墳5基、横穴墓3基、江戸時代の道路と思われるものが発見されました。
古墳のうち1基は、県内でも20数例しか発見されていない木芯粘土室という構造で、市内では初めての発見でした。
遺物は、弥生時代の土器・石器、古墳時代の土器・玉類・馬具・鉄鏃・刀等があります。



木芯粘土古墳全景



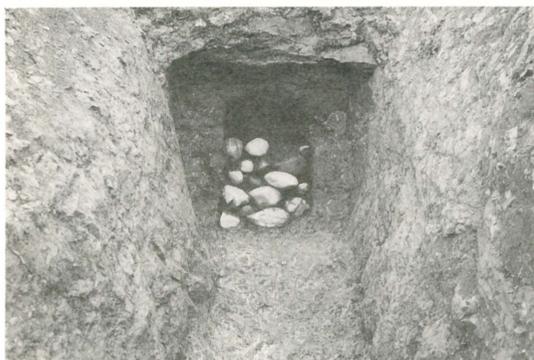
木芯粘土古墳土器出土状態



木芯粘土断面



木芯粘土室全景



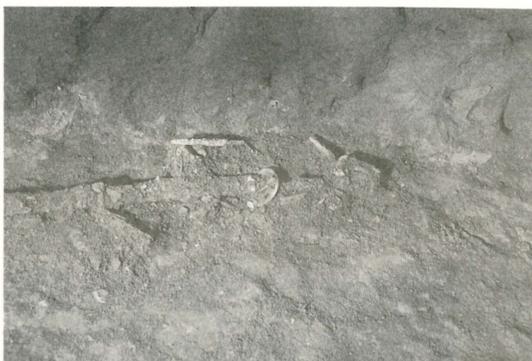
D群1号墓 閉塞の状態



D群1号墓 直刀出土状態



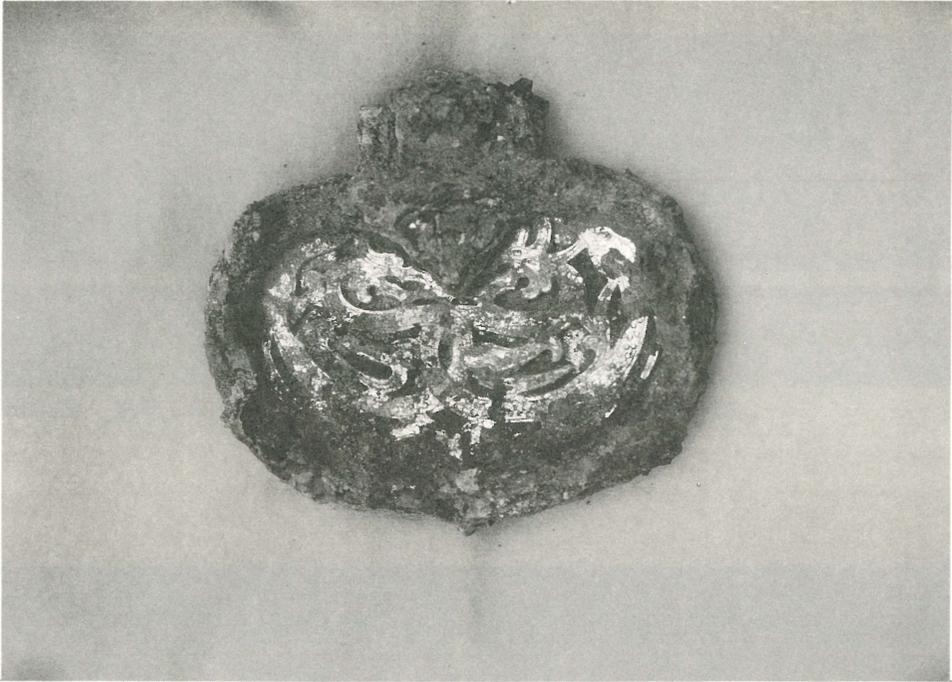
D群1号墓 耳飾り出土状態



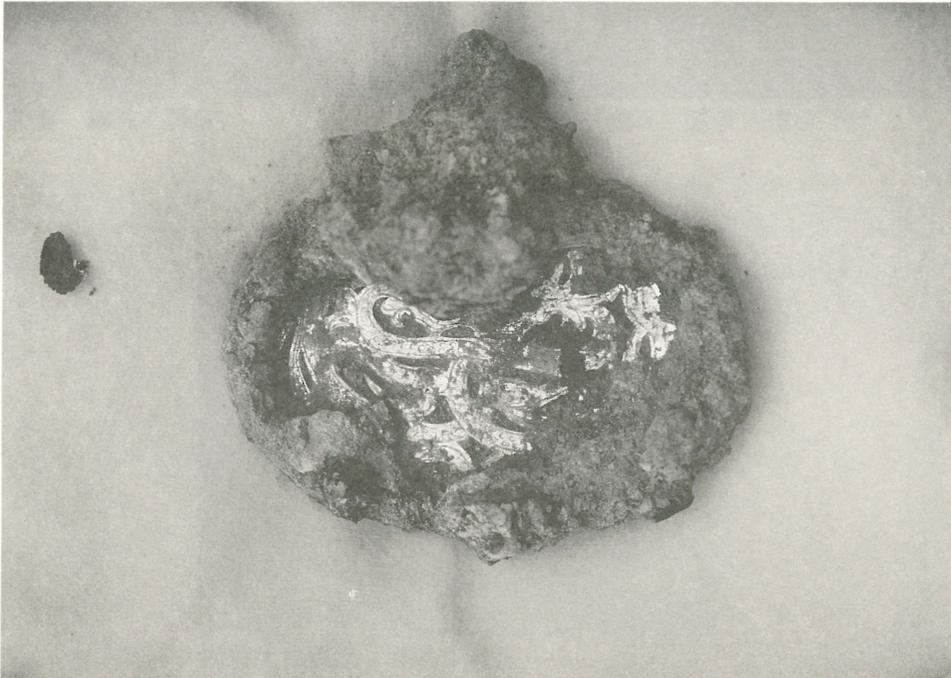
D群1号墓 直刀柄部分



E群1号墓 土器出土状態



木芯粘土古墳出土 杏葉^{ぎょうよう} 1 (馬具)



木芯粘土古墳出土 杏葉^{ぎょうよう} 2 (馬具)

みね いせき みねよこあなぐん
峯遺跡・峯横穴群

1. 調査地 下垂木 1472-1他
2. 調査の原因 桜木小校舎増築
3. 調査の面積 2,200㎡
4. 調査の期間 平成3年11月～12月
5. 調査の内容

峯遺跡の調査では、鎌倉時代（700年前）と思われる長さ50m幅4.3m・深さ3mの大溝が発見されました。

峯横穴群からは、古墳時代後期（1,400年前）の横穴16基が発見されました。石で棺を囲ったものや、鎌倉時代（700年前）に最利用されたものがありました。横穴からは坏・高坏・壺等の須恵器、鏃・小刀等の鉄製品、勾玉・耳環等の装身具が出土しました。



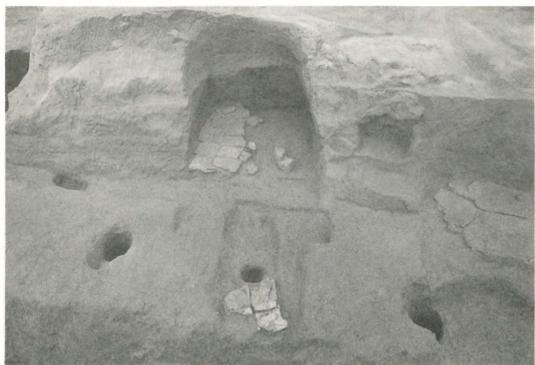
峯遺跡大溝断面



2号墓 閉塞状況



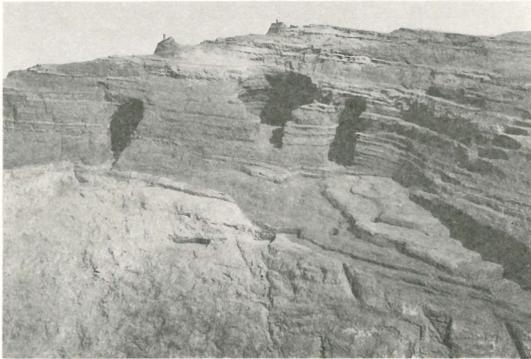
2号墓 遺物出土状況



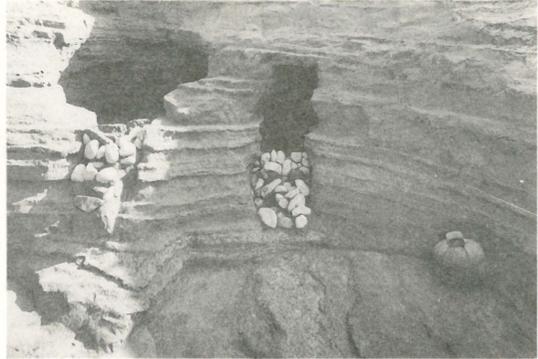
5号墓 敷石出土状況

つるもとこふんぐん やざきよこあなぐん
鶴本古墳群・矢崎横穴群

1. 調査地 上張字奥ノ谷 363-3、上張字大谷 189-1他
2. 調査の原因 東名掛川インターチェンジ建設
3. 調査の面積 1,500㎡
4. 調査の期間 平成3年4月～6月、平成4年1月・2月
5. 調査の内容 鶴本古墳群では、古墳の主体部と思われる土壇2基と、溝1条を発見しました。矢崎横穴群では、古墳時代後期(1,400年前)の横穴7基を確認しました。その内の保存状態の良好な1基からは人骨3体が発見されました。遺物の残りも大変良く、坏・壺・甕などの須恵器や、大刀・鉄鏃などの鉄製品や、耳環などが発見されました。



鶴本横穴群A群全景



A群3号墓々前域



A群3号墓 遺物出土状況



B群5号墓 人骨出土状況

あかぶち い せき なかかわはら こ ふん
赤渕遺跡・中川原古墳

1. 調査地 家代
2. 調査の原因 土地区画整理
3. 調査の面積 1,500㎡
4. 調査の期間 平成3年7～10月
5. 調査の内容

赤渕遺跡からは、古墳時代前期（1,600年前）の竪穴住居跡1軒、古墳時代の円墳1基、溝状遺構4条、小穴多数が確認されました。古墳の埋葬施設からは、鉄の斧・馬具・ガラス小玉が出土しました。赤渕遺跡の北側にある古墳（赤渕古墳）の埋葬施設からも鉄剣が出土しました。

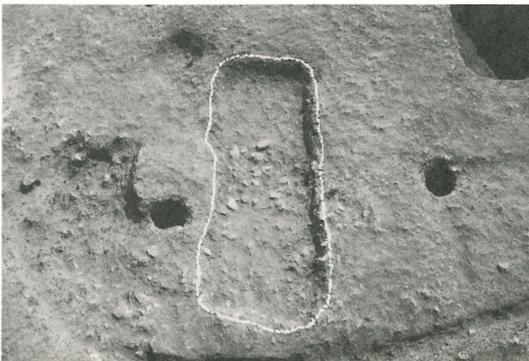
中川原古墳は山を削りだした円墳で、埋葬施設からは、勾玉・管玉が出土しました。



赤渕遺跡全景



古墳時代前期の住居跡



赤渕南古墳主体部



赤渕北古墳主体部

はらがわ いせき 原川遺跡

1. 調査地 梅橋字藪崎 432・433他
2. 調査の原因 宅地造成
3. 調査の面積 940㎡
4. 調査の期間 平成3年3月～7月
5. 調査の内容

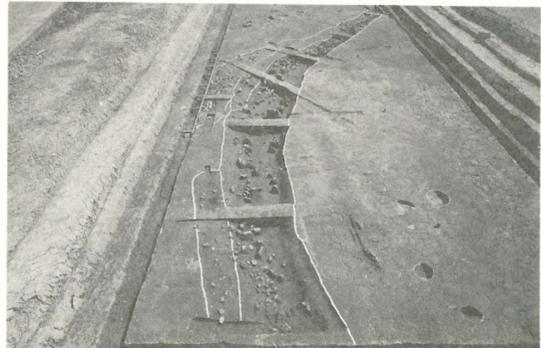
調査は、奈良・平安時代（1,000～1,200年前）、古墳時代中期～後期（1,300～1,400年前）、古墳時代前期？（1,600年前）の遺構・遺物が検出される層の3層にわたって行われました。

奈良・平安時代では、住居跡と考えられる竪穴状遺構、溝、小穴多数が発見され、溝の中からは灰釉陶器・須恵器・土師器片が多数出土しました。

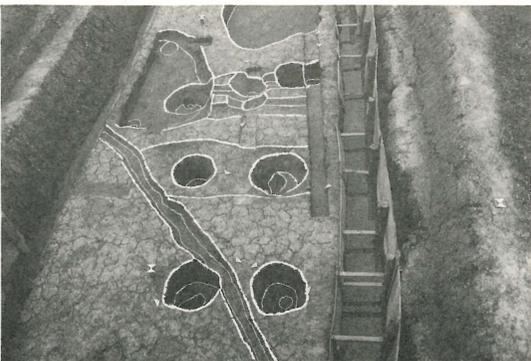
古墳時代中期～後期でも竪穴状遺構・溝・掘立柱建物が発見され、溝の中からは土器片の他に滑石製の勾玉・白玉が多数出土しました。古墳時代前期の層からは、木棺が非常に良好な状態で出土しました。



平安時代の溝 遺物出土状況



古墳時代後期の溝 遺物出土状況



古墳時代後期の掘立柱建物跡



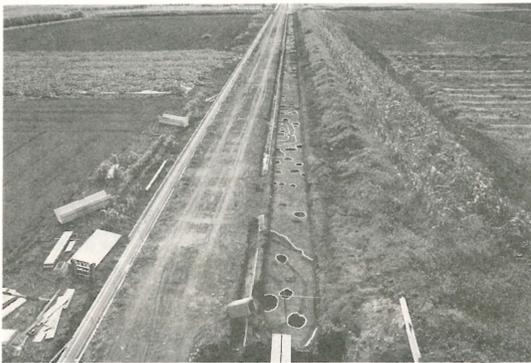
古墳時代前期？の木棺出土状況

なかはらいせき 中原遺跡

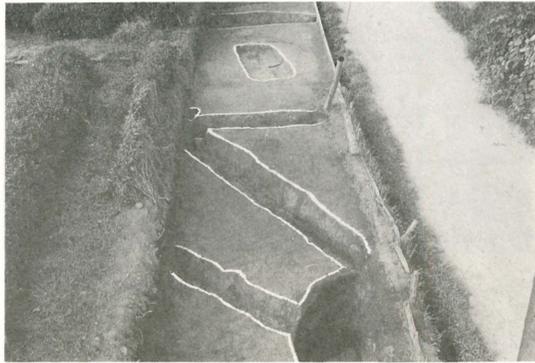
1. 調査地 高田
2. 調査の原因 市道吉岡2・4号線拡幅
3. 調査の面積 1,000㎡
4. 調査の期間 平成3年7～9月
5. 調査の内容

今回の調査では、縄文時代から古墳時代にいたる竪穴住居跡4軒、弥生時代から古墳時代にかけての方形周溝墓1基などが発見されましたが、調査部分の幅が約2mと狭かったため、住居跡や方形周溝墓の規模はわかりませんでした。

出土した遺物は、縄文時代から奈良時代の土器、縄文時代の石器があります。



調査区全景



方形周溝墓

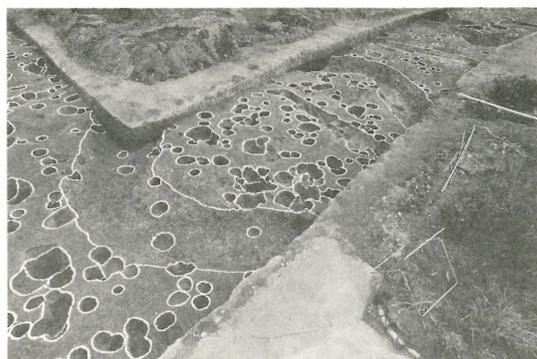
おかつばらさんいせき 岡津原Ⅲ遺跡

1. 調査地 岡津 595-1他
2. 調査の原因 市道富部各和線拡幅工事
3. 調査の面積 400㎡
4. 調査の期間 平成3年6月～8月
5. 調査の内容

今回初めて岡津原の段丘を調査しました。調査は限られた狭い範囲でしたが、縄文時代中期(4,000年前)の小穴、弥生時代中期から後期(1,900～1700年前)にかけての方形周溝墓4基、溝状遺構9条が発見されました。この遺跡は、時代で見ると弥生時代を中心として、段丘の南へ広がる集落ではないかと考えられます。

はやしいせき 木遺跡

1. 調査地 吉岡字庵下 1002-3他
2. 調査の原因 宅地造成
3. 調査の面積 950㎡
4. 調査の期間 平成3年10月～12月
5. 調査の内容 調査では、弥生時代後期から古墳時代前期（1,700～1,600年前）にかけての方形周溝墓3基、鎌倉時代（700年前）の土壇、小穴約400基が発見されました。
遺物には、弥生時代から古墳時代にかけての土器と、鎌倉時代の山茶碗などがあります。



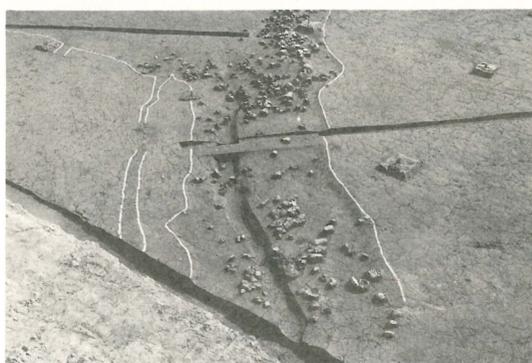
方形周溝墓



山茶碗出土状況

うめばしきたいせき 梅橋北遺跡

1. 調査地 領家字閑地 1,590他
2. 調査の原因 倉庫敷地造成
3. 調査の面積 1,750㎡
4. 調査の期間 平成3年7月～10月
5. 調査の内容 調査は、平安時代？（1,000年前）の遺構・遺物が検出される層と、古墳時代後期（1,400年前）の遺構・遺物が検出される層の2層にわたって行われました。
平安時代では、溝1条と小穴が発見されました。
古墳時代後期では、人工の溝と、自然にできた流れの跡から多数の土師器・須恵器片が出土しました。



古墳時代後期の溝 遺物出土状況



調査区全景



方形周溝墓

下に遺跡がありませんか？

工事計画する前に確認してください。

現在、掛川市には930もの遺跡があり、県内一遺跡の多い市だと言われて
います。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの“心のふるさと、とも言わ
れ後世の人たちに伝えていくことが大切です。

このため、『埋蔵文化財保護法』で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶
園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられ
ています。

工事のため申請したが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった —— という
ことのないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会社会
教育課にご相談ください。

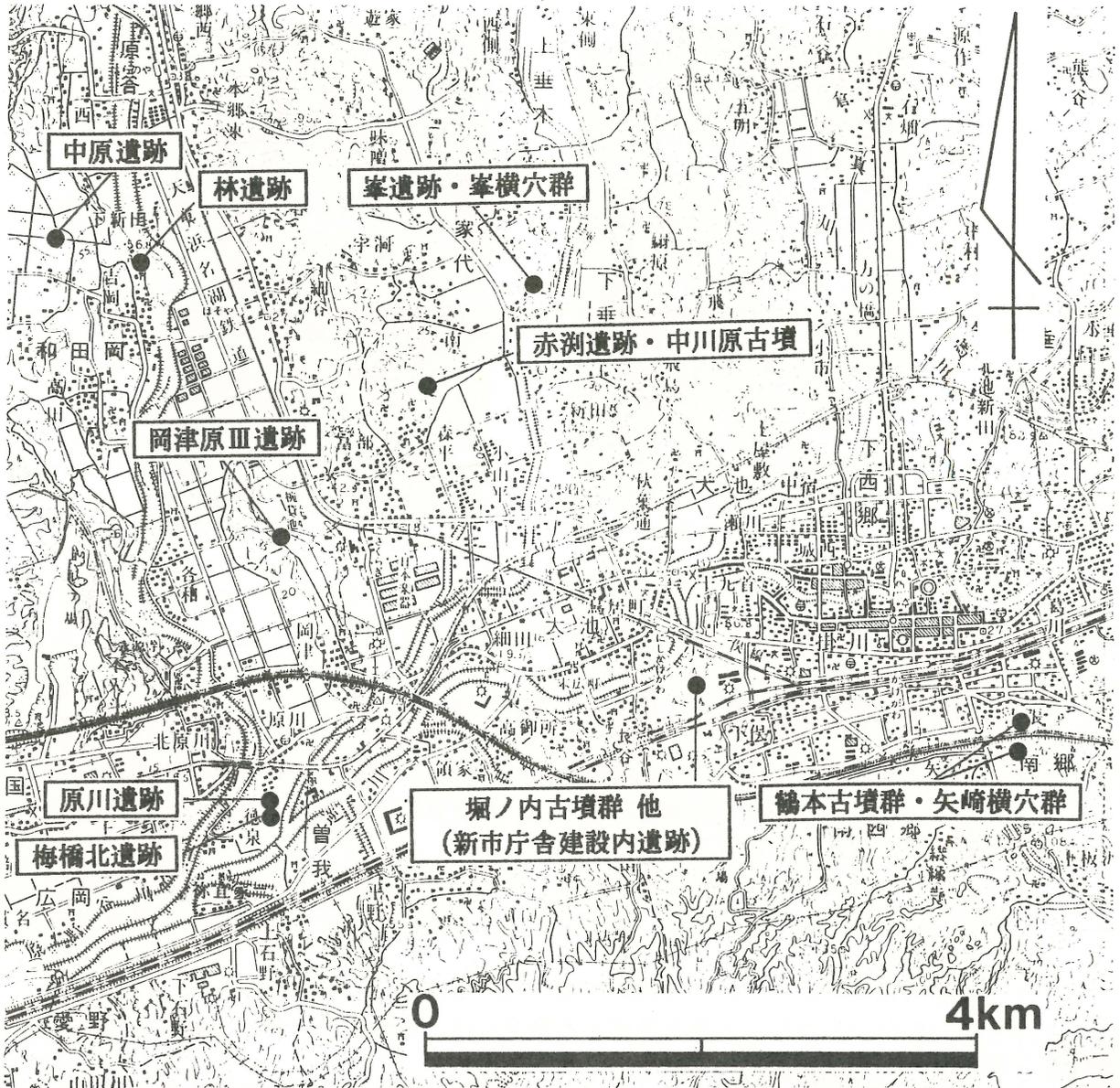
なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。次の
場所に用意してありますので、計画前にぜひご確認ください。

・掛川市教育委員会 社会教育課文化係 TEL (24) 7773
(24) 6268

・掛川市立図書館

・掛川市役所内：良質地域課（2階）

位置図



掛川市「考古の日」

令和9年5月21日（陰暦）現在の長谷字小出ヶ谷地区において、銅鐸一口が発見され掛川藩に届出されました。これが現在の文化財保護法の遺物の発見届と同じことで、この日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理解と、これらを保護・保存しようとする意識の向上を願い、毎年5月21日を掛川市「考古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク

※パンフレットの無断転写を禁じます。